

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道289号 <small>はちじゅうりごえ</small> 八十里越 起終点 自 新潟県三条市大字塩野淵 <small>さんじょう おおあざしおのふち</small> 至 福島県南会津郡只見町大字叶津 <small>みなみあいづぐんただみ おおあざかのうづ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局 延長 11.8 km										
事業概要 一般国道289号は、新潟県新潟市から福島県いわき市に至る延長約260kmの主要な幹線道路であるほか、本州を横断する連絡路として広域的な連携・交流を促進する重要な路線である。八十里越は、新潟県事業（大江道路）、福島県事業（入叶津道路）と共に県境の通行不能区間の解消を目的とした、延長11.8kmの2車線道路である。												
S61年度事業化 H 年度都市計画決定 H2年度用地着手 H元年度工事着手												
全体事業費 470億円 事業進捗率 49% 供用済延長 0 km												
計画交通量 1,800 台/日												
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 5.4	総費用 (残事業)/ (事業全体) 177 / 477 億円 (事業費: 166/466 億円) (維持管理費: 11/ 11 億円)										
		総便益 (残事業)/ (事業全体) 964 / 964 億円 (走行時間短縮便益: 906/906 億円) (走行費用減少便益: 57/ 57 億円) (交通事故減少便益: 1/ 1 億円)										
基準年 平成17年												
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動: B/C=4.9~6.0 (交通量±10%) 事業費変動: B/C=5.0~6.0 (事業費±10%) 事業期間変動: B/C=5.0~5.8 (事業期間±20%) 社会的割引率変動: B/C=4.5~6.6 (割引率±1%)												
事業の効果等 ・国土、地域ネットワークの構築（現道における交通不能区間の解消） ・災害への備え（災害による道路寸断で孤立化する集落の解消）												
		他8項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見 八十里越は、交通不能区間の解消、地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、4市7町7村の首長及び議長で構成される国道289号建設期成同盟会等より早期整備の要望を受けている。												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当該路線の沿線市町村は少子高齢化及び過疎化が顕著であり、交流人口及び定住人口の増加を図ることが課題となっている。												
事業の進捗状況、残事業の内容等 3本のトンネル、1基の橋梁が完成しており、事業進捗は49%である。用地取得も71%進捗している。												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成17年度は新潟・福島県境の9号トンネルの工事推進、5号トンネル着手などを実施し、今後も引き続き事業を推進し、平成20年代の完成供用を目指す。												
施設の構造や工法の変更等 新技術、プレキャスト製品の積極的な活用及び大型化（長尺化）、建設発生土の有効活用、再生材を利用した舗装、路盤工の活用等により、コスト縮減を図っている。												
対応方針 事業継続												
対応方針決定の理由 事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。												
事業概要図												
	八十里越（権限代行区間） L=11.8km											
		福島県南会津郡 只見町 大字 叶津										
	<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>———</td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td>■■■■■</td> <td>事 業 中</td> </tr> <tr> <td>//////</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨</td> <td>うち供用中</td> </tr> </tbody> </table>	凡	例	———	供 用 中	■■■■■	事 業 中	//////	再評価箇所	▨▨▨▨	うち供用中	
凡	例											
———	供 用 中											
■■■■■	事 業 中											
//////	再評価箇所											
▨▨▨▨	うち供用中											

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。